



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 相澤 隆
幹事 佐藤 卓立

クラブ奉仕委員会委員長 黒澤 信之
会報・雑誌・広報・IT小委員会委員長 大平 謹一郎

令和2年2月3日(月) 第23回 通算第1557回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

- ◇開会点鐘 相澤 隆会長
- ◇ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 高橋 智弘会員
- ◇「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会 渡辺 敬藏委員長

2月誕生祝い



・長島健博会員 昭和35年2月8日生
・久米允彦会員 昭和21年2月13日生

- ◇会長あいさつ 相澤 隆会長



皆さんこんにちは。2月に入りまして、本日は節分であります。

節分の「豆まき」は、病気や災害を払う儀式の一つとして、中国の「追儺(ついな)の儀式」、いわゆる鬼やらいに由来するそうであります。豆には霊の力があるとされておりまして、豆をまくことで、邪気を払い、福を呼び込むと考えられています。

また、節分には恵方巻を食べるという習慣が、ここ福島でもだいぶ一般化してきたようであります。今年は、西南西の方角が恵方に当たるそうですので試してみたいはいかがでしょうか。

話は変わりますが、ロータリーの2019-20年度も残り5カ月となりまして、徐々に次年度の準備の方も始まっております。先月20日にアメリカ・サンディエゴで開催されたロータリーの国際協議会で、ホルガー・クナークRI会長エレクトが2020-21年度の会長テーマとしまして「Rotary Opens Opportunities」、日本語に訳しますと「ロータリーは機会の扉を開く」というテーマを発表して、「世界に変化を生むために、ロータリーがもたらす多くの機会を生かすように」と講演されました。

2018-19年度の会長テーマだった「インスピレーションになろう」もそうでしたが、どうも日本語訳になるとしっくりこないという感じを受けますが、今回のキーワードはOpportunities(オポチュニティーズ)ではないかと思えます。

オポチュニティーは、チャンスと同様に良い意味での「機会」と訳されていますが、オポチュニティーは積極的な努力によって得られた機会、チャンスは偶然によって与えられた好機、つまり天から与えられた機会というニュアンスも含まれるということで、必然性と偶然性の違いがあります。

つまり、チャンスは努力や運にかかわらず、とにかく「好い機会」であることを指します。一方、何らかの努力が反映された結果として得られた「機会」「好機」だけに使われるのがオポチュニティーということになります。

クナーク会長エレクトは、テーマを発表した講演の中で「ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待です。ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや1本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開いてくれます。私たちの中核的価値観を基に、世界中の友人たちとともにより豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれます。そして私たちのあらゆる活動が、どこかで誰かのために機会の扉を開いています」とテーマに込めた意義を説明しました。

会員の皆さんにとって、ロータリーが与える「オポチュニティー」とは何なのか、考えてみる機会とされてはいかがでしょうか。

- ◇幹事報告 佐藤 卓立幹事

○例会変更のお知らせ

・当クラブ次週10日の例会は祝日の週のため休会です。

○その他のお知らせ

・2月15日(土)は新会員初エンターションがエルティにて開催されます。各自昼食を済ませてから13時にご集合ください。よろしくお願いいたします。

委員会報告

- ◇青少年奉仕委員会 佐藤 慶行委員長

○3/7、8開催RYLA研修会のご案内

- ◇出席・スマイリングBOX小委員会 黒澤 信之委員長

○相澤 隆会長=本日は寺島会員にスピーチしてい

ただきます。よろしくお願いいたします。

○佐藤卓立幹事＝寺島英樹会員、新会員スピーチ楽しみにしてます。よろしく御願ひ致します。

○梅津一匡会員＝今月もよろしく御願ひします。

○久米允彦会員＝誕生祝いありがとうございます。

——寺島英樹会員の新会員スピーチによせて——

○大平謹一郎会員 ○佐藤慶行会員 ○佐藤宗弘会員

○鈴木悦夫会員 ○高梨哲男会員 ○高橋智弘会員

○寺島英樹会員 ○野尻榮一会員 ○渡辺敬藏会員

○黒澤信之会員

本日のスマイリングBOX集計14件 28,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございます。

◇会報・雑誌・広報・IT・小委員会 大平謹一郎委員長
*「友」2月号紹介

横組P3 マロリーRI会長メッセージ

ロータリー創立以来115年の間に世界は大きく変わっていますがロータリーの理念「超我の奉仕」は変わることがありません。世界中で変化のスピードは速まっていく中、ロータリーの奉仕の理想はますます高まっています。全ての重点分野でロータリープロジェクトは世界中のあらゆる地域で、人々の暮らしを向上させ、地域が変化のスピードに適應する手助けをしています。

P7 特集 ようこそ 島へ

6つの島のロータリークラブの活動内容と島の魅力について語っています。2月は平和構築と紛争予防月間です。

特集 平和な社会をつくる

ロータリーは異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。

P16 広島 長崎から平和を伝える

長崎の鎮西学院高校IACの内山君は核兵器廃絶と平和な世界の実現をめざす「高校生1万人署名」に参加。2019年5月第22代高校生平和大使となり国連欧州本部に核兵器廃絶の署名を届け、パチカンではローマ教皇に長崎のかつての惨劇を伝え、被爆地へ訪問をお願いした高校生です。

P18 広島・長崎被爆樹木の植樹

広島東南RC、能代RC各々60周年の記念事業として行われました。

P19 活躍するロータリー平和フェロー

これまで1100人以上の平和フェローが卒業し、現在ロータリーの重点分野に関連する活動をしています。活躍する平和フェロー2人を紹介しています。

P22 「世界ポリオデー」にちなみ全国のポリオ根絶の為の活動が紹介されています。

縦組P4 SPEECH

ユニバーサルデザインアドバイザーの松森果林さんの札幌東RC創立60周年記念講演の要旨です。

彼女は聴覚障害者です。

聞こえる世界から聞こえない世界へ。

そして共に生きる社会へ。

ユニバーサルデザインとバリアフリーの違い等述べられております。世の中には健常者と障害者という2つの言葉があります。健常者は何も頼らずに自立していて、障害者はさまざまなことに頼らないと生きていられないと思われていますが、真実は逆ではありませんか。健常者はさまざまなものに依存できていて障害者は限られたものしか依存していない。そういう現実があると思います。違いを隠すことなく、他の誰かと同じにする必要もなく、一人ひとりがかけがえのない存在として大切にされ、能力が発揮できる社会になればと思います。

◇本日のプログラム——新会員スピーチ

○東日本テクノレッジ株式会社代表取締役 寺島英樹会員



福島西ロータリークラブに入会し早、半年を過ぎました。今回は会員スピーチと言う場を与えて下さり感謝申し上げます。

私は以前に福島21ロータリークラブに所属をしておりました。

2009、2010年においてはクラブ幹事を経験しました。福島21ロータリークラブでは創立9年目に幹事させていただきましたが、大人数のクラブと言うことで、沢山の経験と勉強をさせて頂きました。その経験も今後活かせればと考えております。

今回私は、ロータリー復帰と共に二つ目のロータリークラブへの移籍になるのですが2年半のブランクがございます。最初は暖気運転のつもりで勉強致しますので宜しくお願い致します。

今回、福島西ロータリークラブに入会する為に力を貸してくれた大平会員には改めて感謝致します、大平会員とは2009、2010年に県北第一分区において会長幹事会で知り合いました。その後九重会という同窓会を残し、年に3、4回ほど集まりをしており、10年目を迎えました。九重会の皆様には、早くロータリーに復帰して頑張って会長になりなさいとのミッションがありました。今回、そのミッションの第一歩になりました。

精進して頑張りますので福島西ロータリークラブの皆様、宜しくお願い申し上げます。



◇閉会点鐘

相澤 隆会長

※会報カメラ担当

大平 謹一郎会員